

2019 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|------------------------------|
| 団体名 | 三原アレルギーの会ひだまり |
| 活動テーマ | 大規模災害に備えアレルギー患者の共助の仕組みをつくる活動 |



平成 30 年7月西日本豪雨災害では、当会の拠点である広島県三原市はもとより近隣の市町においても甚大な被害が発生しました。

支援物資はアレルギーのため食べられず、広範囲な浸水で店舗は閉鎖、道路も寸断された状態で、誤食によるアナフィラキシーショックの不安を感じながら被災生活を送りました。そのような状況の中、支援団体や患者団体との繋がりのおかげで、三原市社会福祉協議会に拠点を設置し、三原市保健福祉課や子育て支援課など行政と連携を取りながら運営、近隣の市町村のアレルギー患者の SOS にも対応することが出来ました。

このような活動を記録として残し伝えることで、今後予想される災害に対しての備えを考えるうえで、多くのアレルギー患者の情報源となることを願い「アレルギー対応支援活動の記録」の作成を行いました。発刊後、会員からのみならず、全国のアレルギー患者や支援団体、医療機関者から問い合わせをいただき、災害時のアレルギー対応への関心が高くなっていることがうかがえました。

また、平時からの備えを私たちだけではなく民間の人や行政と一緒に取り組むことで、自助・共助・公助の支え合いの仕組み作りにつなげたく「アレルギーに配慮した体験型防災講座」を開催しました。アレルギー患者や家族、地域、支援団体、と様々な立場からご参加いただき、今後の共助の仕組み作りを深めていくうえで大きな一歩となりました。

今後も周囲の方々のご協力を頂きながら、災害時アレルギー患者が孤立することのないよう啓発活動を続けていきます。